

## 第40回助成金贈呈記念式典を開催 2012年2月29日 京王プラザホテル東京にて

「かなえ医薬振興財団」による助成金交付事業は今年度40回目を迎え、平成24年2月29日、第40回助成金贈呈記念式典を開催しました。当日は都内でも積雪10センチメートルという天候のなか、受賞者、財団役員、選考委員および出捐会社であるサノフィ・アベンティス関係者をあわせて、約100名ご出席いただきました。今号は第40回助成金贈呈記念式典特別号として、式典の様子をご紹介します。

### 助成金贈呈記念式典

開会の辞 田原 一二 理事長

#### 選考結果報告

寺本 明 選考委員長

(日本医科大学大学院医学研究科 研究科長)

#### 助成金贈呈

平成23年度 研究助成金の贈呈 (40件)

平成23年度 アジア・オセアニア交流研究助成金の贈呈 (5件)

平成23年度 海外留学助成金の贈呈 (15件)

——各領域代表受賞者7名のプレゼンテーション——

(研究助成及びアジア・オセアニア交流研究助成)

#### 祝 辞

サノフィ・アベンティス (株) 代表取締役社長 ジェズ・モールディング

#### 閉会の辞

島田 秀孝 専務理事

### 交流会

——受賞者45名のポスター展示——

(研究助成及びアジア・オセアニア交流研究助成)



## ●開会の辞：田原 一二 理事長（サノフィ・アベンティス株式会社 常務執行役員）

今回、第40回目を迎える助成金贈呈記念式典に際し、研究助成金、アジア・オセアニア交流研究助成金および海外留学助成金を受賞される先生方におかれましては大変な激戦の中でのご受賞誠にありがとうございます。

当財団は、生命科学分野の若手研究者を対象に斬新な研究を支援する目的で1970年10月に設立以来、研究助成、海外留学助成で合計1,331名の研究者に助成金を提供してまいりました。2011年4月からは公益財団法人となり、新たにアジア・アセアニア交流研究助成金も開始いたしました。

財団名の「かなえ」は、特徴的な3本の脚を持つ青銅器で、中国の故事にある王位継承の象徴とされる宝器に由来しています。かなえが3本の脚を必要とするように、国民の健康増進には3者のパートナー、すなわち研究者、医療行政、製薬会社の協力関係が重要と考え、名付けられています。

当財団は、サノフィ・アベンティスの前身会社であるフナイ薬品工業が1970年に設立して以来、今日に至るまで支援活動が継続されております。この間に数多くの役員・評議員の先生方に温かく支えられここに至っていること、また、選考委員の先生方には非常に多数の審査をお願いした上、選考委員会の審議を経て採択者の決定に至るまで長時間の拘束をお願いしており、そのご尽力に対し厚く御礼申し上げます。

40年を契機に、この伝統ある活動を鋭意展開できるよう、支援会社であるサノフィ・アベンティスとの関係を友好かつ公正なものとして、更に進展させてまいりたいと存じます。そして、今日お集まり下さった先生方のご健勝とご研究の発展を祈念し、私のご挨拶とさせていただきます。



## ●審査結果報告：寺本 明 選考委員長（日本医科大学大学院医学研究科 研究科長）

まず、本日助成金を受けられた受賞者の皆様に心からお祝い申し上げます。また、40年間、生命科学分野の若手研究者に多額の経済的支援しているかなえ医薬振興財団の田原理事長はじめ、財団役員の方々、ならびに財団を経済的にサポートをいただいているサノフィ・アベンティス株式会社のご尽力に深く感謝申し上げます。

かなえ医薬振興財団の助成金の公募は、年々応募者が増え、10年前の2001年では合計375名であった応募者が、5年前の2006年では598名、今回は653名と、ここ数年では10倍以上の厳しい選考審査でした。

研究助成金は、臨床医学分野を1)神経/脳、2)循環器、3)消化器/代謝、4)呼吸器/免疫・アレルギー/血液/その他の4領域、基礎医学分野を1)癌/免疫/ゲノム/感染、2)神経/薬理/薬物動態/その他の2領域、計6領域で40歳以下の若手の研究者を対象に公募を実施いたしました。交付金額は、1件あたり100万円または200万円で合計4300万円です。今年のお応募は460件で、倍率は11.5倍と非常に厳しい選考審査となりました。領域ごとの応募数に応じて助成金を配分するため、各領域の倍率はほぼ同じとなっております。選考審査は各領域5名の選考委員がABCDの4段階で評価を行い、後日、選考委員会を開催し交付対象者を決定しました。審議の結果、臨床医学1が3名、臨床医学2が4名、臨床医学3が4名、臨床医学4が7名、基礎医学1が11名、基礎医学2が11名の合計40名が受賞となり、うち3名は全ての選考委員がA評価で満点を獲得し200万円の受賞となりました。

次に、アジア・オセアニア交流研究助成金は本年度からスタートし、応募資格は45歳以下でアジア・オセアニア地域在住の研究者と共同研究を実施する日本在住の日本人研究者として、対象領域は老年医学/再生医学/感染症/疫学/医療機器/漢方/その他で、交付金額は1件当たり200万円で合計1000万円です。今年のお応募は40件で倍率は8倍となり、5名が採択されました。

最後に、海外留学助成金については1年間の留学補助の目的で、応募資格が35歳以下の若手日本人研究者、対象領域は研究助成と同様で交付金額は1人当たり120万円で合計1800万円です。今年のお応募は153件で倍率は約10倍、15名が採択されました。

以上のように、各助成金とも多数の応募者の中から厳正な審査によって、計60名の採択者を決定いたしました。選考委員の先生方には時間と労力をおかけ致しましたこと、この場を借りて改めて厚く御礼申し上げます。重ねて、助成金を受けられる先生方にお祝い申し上げますとともに、今後の研究の一層のご発展を祈念し、ご報告とさせていただきます。





## ●助成金贈呈



代表者プレゼンテーション風景



研究：臨床医学 1



研究：臨床医学 2



研究：臨床医学 3



研究：臨床医学 4



研究：基礎医学 1



研究：基礎医学 2



アジア・オセアニア交流研究



海外留学

## ●祝辞：ジェズ・モールドィング（サノフィ・アベンティス株式会社 代表取締役社長）

本日、記念式典にお集まりいただきました皆様に感謝申し上げます。今回、多大なる努力の成果として助成金を受けられた若い研究者であられる先生方にお祝いを申し上げますとともに、今後もそれぞれのご研究を成功裏に続けられることを心から願っております。

創薬、臨床の世界においては、研究こそが鍵であり、世界中にいる多くの患者さんが高い質での生活を送ることができるようになってきましたのも、その基となるのは、諸先生方の研究に因るものです。未だ満たされていない医療ニーズに対しても、これからより革新的な解決策が生まれることを確信しております。

日本におけるサノフィ・アベンティスは、約3千人の社員を有する大手製薬企業となってきております。日本の人々の健康に貢献すべく、糖尿病、オンコロジー、血栓症、循環器疾患、内科系疾患、中枢神経系疾患、ワクチン事業の各主要領域において新製品の開発や既存製品の剤形・適応追加に取り組んでおりますが、同時にこれまで40年間、かなえ医薬振興財団を支援してきましたことにも誇りを感じております。これから先も10年、20年と、生命科学分野における若手研究者の皆様にとって励みとなり、また飛躍の場を提供し続ける財団であり続けるよう、未だ満たされていないニーズの研究のため、弊社としても継続して支援してまいりたいと思っております。

今年も600を超える申請があったとのことですが、毎年高いレベルで選考が行われております。栄誉ある受賞者となられた先生方はこの受賞を励みとして、次世代を担う研究に果敢に取り組んでいただきますよう心よりお願い申し上げます。本日受賞されました先生方の中から、これからの生命科学分野をリードする研究者が数多く輩出されることを祈念して、お祝いの言葉といたします。



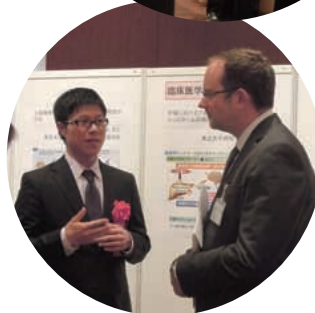
## ● 交流会



サノフィ・アベンティス鈴木副社長よりご挨拶



名誉理事 齋藤英彦先生の乾杯



### ご出席いただいた受賞者のコメント抜粋

#### 贈呈式典について

- ・それぞれの分野の代表者がプレゼンテーションし、その後に全員が受賞するという進行は良かったです。
- ・代表の先生方の最先端の研究の一端を興味深く拝聴でき、刺激を受けました。
- ・選考委員長の先生による選考経緯のご説明や、代表者のプレゼンテーションもとても良かったと思います。

#### 交流会について

- ・交流会では、財団役員、選考委員の先生方も出席されていて、著名な先生方から研究のご助言を直接いただける素晴らしい機会となりました。
- ・ポスター展示によって異分野の研究についても知ることができて良かったです。ただ他の方とお話中で聞いてみたいことがあってもなかなかお会いできなかったのが残念でした。
- ・時間的に難しいかもしれませんが、分野のグループ毎などでポスターに基づき研究内容を紹介しあったりする時間を設けたら、より交流も深まり有意義だと思いました。

## 発行

公益財団法人かなえ医薬振興財団 事務局

〒163-1488

東京都新宿区西新宿 3-20-2 サノフィ・アベンティス（株）内

Tel : 03-6301-3090 FAX : 03-6301-3094

E-mail : kanae.zaidan@sanofi.com

URL : <http://www.kanae-zaidan.com/>

#### ■第40回記念式典を終えて

ご出席いただきました皆様を始め、これまで40年間にわたり財団をご支援いただいている皆様に、厚く御礼申し上げます。

受賞者の皆様には式典後アンケートにもご協力いただきありがとうございました。今後の財団運営に十分に活用させていただきたいと思っております。

先生方の今後益々のご活躍をお祈りいたしております。